



図書館 だより

図書館 ☎69・3706

「おしえて! 図書館」

Q 日めくりに書いてある「立冬」や「小雪」って何?

A 日めくりを見ると、11月7日は立冬、22日は小雪と書いてありますね。これらは、1年を24等分した「二十四節気」という、旧暦で使われていた季節の名前です。詳しくは、こちらの本に載っています。



日本の七十二候を楽しむ 旧暦のある暮らし

白井明大 / 文
菅賀一広 / 絵
東邦出版

旬の野菜や果物、季節それぞれの風物詩や祭、行事など、旧暦にまつわる古きよき暮らしの知恵と楽しみを紹介。「こたつ開きの日」や「鍋の日」なども載っています。

暦を知ると、季節の移り変わりをいっそう楽しめると思います。

Q 近場で紅葉がきれいな場所を教えてください!

A 愛知県の紅葉スポットは、岡崎市のくらがり溪谷や、豊田市の香嵐溪などがあります。落ち着いた雰囲気鑑賞したい方は、こちらの本はいかがでしょう?



東海花の寺めぐり 爽BOOKS

加藤敏明 / 文・写真
風媒社

愛知・岐阜・三重・静岡の花や紅葉がきれいなお寺を季節ごとに紹介。美しい写真がたくさん掲載されています。電車・自動車でのアクセス情報も便利。

また、シーズンになると、雑誌『東海ウォーカー』で近隣の紅葉特集が組まれますので、そちらも参考にしてみてください。

貸出中の場合もあるので、見当たらない時は気軽に職員へお尋ねください。

「イカのヒミツ」

■イカの当たり年

今年はいかがが多かったらしく、釣りでも早い時期から釣果は良いらしいです。水族館でも漁師さんの船に乗せてもらったり、夜間に採集へ出かけたりにしてイカをスカウトできることがあります。展示すると人気でした。イカは色素細胞が発達しているためめまぐるしく体の色を変えて泳ぐ姿は見えて飽きません。しかし一緒の水槽の魚もめまぐるしく捕まえて食べて

■イカの体

イカを見ると、見れば見るほどこの世の生物とは思えない地球外生物的な体をしています。イカ星人、タコ星人は宇宙人の想像図としてはかなり王道なのがわかる気がします。彼らは頭足類(とそくるい)というグループで、その名の通り頭から足が生えている生き物で、頭と腹の位置がヒトと逆です。驚くと墨を吐くのもヒトにはできない秘技です。イカの

墨にはガンの抑制や抗菌効果もありうまみ成分もあるそうで、イカ墨料理はあるけれどタコ墨料理はないのはこのためです。さらに驚くのは心臓が3つある。体に血液を送る心臓のほか左右のエラに血液を送るエラ用の心臓が2つ。さらにその血液は銅由来のタンパク質なので血の色は基本的に緑色(人は鉄タンパクなので赤)をしている。おまえの血は何色だ、と薄情な人ということがあるがイカには優しさもへつたよりも無さそうです。また、眼は魚よりはるかに発達しており、色もはっきり見えていると言われています。体の中にアニアサキスなどの寄生虫がたくさん住んでいるのもあなどれないです。

■イカにも繊細な飼育
そんなイカですが、寿命はそれほど長くなく、やわらかい体なので捕獲時に傷がつきやすく、水族館の水槽で飼って展示するのは少々難しい生き物です。眼がよいので光にも敏感で照明は徐々に明るくなり暗くなるのが理想。カメラのフラッシュにも弱い。驚くと墨を吐くので水も汚れます。専用の水槽を用意して設備を整えて飼わなければうまく展示することはできず、今回のイカの展示も季節的な短期の展示になりました。
イカだけに、いかにせん飼うのは難しい。いかにうまく飼うか。上手に生かすことができずまことにもって遺憾である。
おあとがよろしいようで。



水族館



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎68・2059